

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.11 (2020年2月発行)



さとうたかのぶ
佐藤太信

あそうかずひで
浅生和英

おおのもとひろ
大野元裕 知事

すがわらふみひと
菅原文仁 市長

さかいいくろう
酒井郁郎

やざわはるか
矢澤青河

大野知事の講演会にて

令和2年度戸田市予算編成における会派要望

戸田の会は、政策を特徴とした集団を目指しています。戸田の会が提言する政策は全て、特定の団体や政党のためのものではなく、全市民にとって利益をもたらすものであることが基準となります。市民の皆さんから頂いたご意見や他自治体の事例研究をベースに、戸田市で実施するための方法までを含めて検討します。

今回、政策実現にむけた活動の一環として、菅原文仁市長に対し122項目もの要望を行いました。適正な予算配分を促すことを通して戸田市に必要な政策の実現を目指して参ります。



市長へ予算要望書を提出!!

予算要望

令和2年度の予算
に対する会派要
望から抜粋

地域連絡員制 度の導入

地域毎に担当職員をお
き、町会
の負担軽
減を。



バリアフリー 担当の設置

当事者団体と調整
を行うバリアフ
リー担当設
置を。



小中一貫校

小中一貫校の拡大や他
学年混合、習熟
度別クラスの導
入検討を。



公園の リニューアル

ボール公園など多様な
公園整備で
こどもの居場
所確保を。



災害対策

冠水ゼロを目指し、雨水
排水計画
の見直し
と実施を。



ひとり親家庭 の負担軽減

アウトリーチ支
援など寄り添
う相談支援
体制を。



福祉総合窓口

縦割り行政を無くし、一箇
所でなん
でも相談でき
る窓口を。



働き方改革

オフィス環境やシス
テムへ投資を行い、
職員にとって働きや
すい環境を。



障害者雇用の 推進

障害者雇用率達成
のため、職場環境の
整備や職員同士が
支え合う体制を。

埼玉県戸田市議会

戸田の会

政策パートナー
募集中!

- ▶ 戸田市政に関心がある方
- ▶ 政策形成に参加したい方
- ▶ 政治を志したい方

ご連絡お待ち
しています!

酒井いくろう

巨額のコスト削減と住民サービス向上を両立する。



会派代表

1975年3月4日生、無所属、3期目
【学歴】東京大学医学部卒業・修了
【職歴】マッキンゼー(経営コンサルタント)、(株)ポピンズ(保育)、医学教育事業
【委員会】衛生センター(議長)、議会改革(委員長)、総務他

【背景】 昨今はICTを始めとする技術革新により、コストを大幅に削減しつつもサービスは向上させるのが当たり前になっています。今回、そのような政策を2件提案します。

■ プール授業は校外で

小中学校のプールの廃止が進んでいます。校内でプール授業を行う代わりに、公共施設のプールや民間スポーツジムのプールを活用することにより、多大なメリットが生まれています。海老名市教育委によれば、メリットは次のとおり。①コスト面(年間7000万円程度の削減)②教職員の負担軽減③安全性(有資格者の監視員)④安心(夜間の侵入、危険物投入、盗撮、鳥フン、大腸菌)⑤寒くない(子供が水泳好きに)⑥寒さ、暑さ、雨での中止がない(計画的な授業)⑦プールの跡地利用。デメリットはほぼ無し。戸田市においても、スポーツセンターや民間ジムのプールを活用し、コスト削減と授業効果その他のメリットを両立すべきであると考

えます。酒井からの議会質問(19年9月)に、教育委は「課題を検討する」との答弁。今後も推進していきます。

■ 10~20億円のコスト増【市特養の改修】



▲市特養「戸田ほほえみの郷」。特殊な構造で機能面、安全性に疑問。

市所有の特別養護老人ホーム「戸田ほほえみの郷」は築22年、大規模な改修が計画されています。9月議会、12月議会の2回にわたる酒井の議会質問翌日、修繕工事に約30億円もの費用がかかることが判明。一方、新築なら20億円前後です。

しかも、現状の建物はバブル期の特殊な構造で、業務効率や安全性に課題があるとされるなど、このまま運営していくこと自体に問題があると思われます。酒井からの議会質問(19年12月)に、「必要に応じて(2019年度末までの)検討期間を延ばして対応する」との答弁。まずは30億円の修繕にストップがかかりました。次は計画撤回に向けて活動していきます。

あそう和英

【花火大会】市民が満足する大会を！



会派幹事長

1968年4月25日生、無所属、1期目
【学歴】法政大学卒業
【職歴】山一証券(株)、美容室VASE代表
 戸田市スクールソーシャルワーカー
【委員会】市民生活(副委員長)他
【その他】社会福祉士、精神保健福祉士

■ 有料席と無料席を分離した効果は？

あそう 2019年の花火大会開催から変更点がいくつかあり、市民からのご意見が様々あった。障がい者への配慮がなされたことは良かったが、無料席が駅から離れたことによる影響は少なかつた。①変更点は②その効果は③2020年以降の開催について伺う。



環境経済部長 ①一つは、安全を保つ為、打ち上げ現場の東西を有料席と一般自由席に分けた。昨年までは有料席と自由席が混在し、自由席へ来場者が際限なく向かい、緊急車両の通行がままならないほど混雑が著しい状況だった②来場者の安全確保が図れたことは良かった③東京五輪に伴い、2020年は5月23日の土曜日に開催する。課題等の検証も進め、周知も行き、一層の工夫を凝らしていく。

■ ふるさと納税で本市の税収は減少中！

あそう まちづくりには予算も非常に重要であり、税収の動向には、注視する必要がある。決して、ふるさと納税の制度を否定するものではないが、返礼品を目的とした制度の利用が、返礼品競争を生み出した。ふるさと納税の5割弱が経費として使われていることを考えると、本市に寄付していただいた額の約半分が税収となる。ふるさと納税に係る税額控除額が年々増える(本市の税収入が減り続けている)一方、ふるさと納税寄付額は年々減っている状況である。このまま税収減が続けば、行政運営や市民サービスに影響が出る懸念がある。市の見解を伺う。

	税額控除額※ (収入減)	寄附金受入額 (収入増)
平成28年度	約8,000万円	1,256万円
平成29年度	約1億5千万円	2,856万円
平成30年度	約2億1千万円	2,248万9千円
令和元年度 (平成31年度)	約2億7千万円	280万円 (7月まで)

※課税年度の前年1月～12月に戸田市民が他自治体へ寄附したことに伴う個人市民税の税額控除額

▲過去のふるさと納税(税額控除)額の推移

環境経済部長 本市ならではの素敵な商品や魅力ある場所が多くある。引き続き市内産品を紹介し、イベントや施設利用などの体験型返礼品の検討を全庁的に取り組み、ふるさと納税による市内外に向けたPRの充実を図ってまいらる。

佐藤太信

【上下水道】耐震化が進まない理由は？



会派会計

1980年5月18日生、無所属、1期目
【学歴】中央大学、大正大学卒業・修了
【職歴】東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【委員会】健康福祉(副委員長)、議会改革他 **【その他】**臨床心理士

■水道管路の老朽化対策、耐震化を！

【背景】 上下水道部門の職員数は年々減少傾向にある。上下水道基盤の維持・強化において、知識・技術的継承の課題を解決するためには、上下水道部門に継続して業務に携わる職員が必要と考える。また、本市における水道管路の耐震化率は51.2%(H30年度末時点)であり、水道管路を耐震化するまでには数十年かかる見込みとなっている。このことから、耐震化の促進、様々な上下水道部門の課題に対応するためには職員の増員・育成が必要不可欠である。

佐藤 ①下水道部門は技術的継承と人材育成が課題。専門職としての採用を。②水道管路の老朽化対策、耐震化が進まない理由は。③ディスプレイ設置後、維持管理に対する指導を。④本市の水「戸田の水来」の見直しを。

上下水道部長 ①上下水道基盤の維持・強化において知識技術の継承は必要と考える。専門職の採用は今後の研究課題とする。②水道施設の多くが耐用年数を迎え、老朽

化が進んでいる。耐震化に必要な莫大な費用が確保できていない。③維持管理によっては環境負荷へ影響がある。定期的に水質検査を実施する。④市内の深井戸から採水した100%戸田市の地下水。ラベル等を含め、市民・企業の皆様の意見をもとに改良を重ねていく。

佐藤 水道管路の老朽化対策について、川崎市ではAIにより水道管の劣化具合を評価し、破損確率の高い配管の交換を可能にする取組みを行っている。本市での導入を。

上下水道部長 試行段階であることから、今後の成果を注視し、本市における導入の有効性について研究したい。

■特定健診受診制度の見直しを！

佐藤 ①健診期間(6月下旬～10月末)の延長を。②情報量が多く、内容が見づらい受診案内パンフレットの見直しを。③不要な架電(受診後、受診勧奨の電話がある)を減らすため業務の見直しを。④キャラクター「はらまわりん」を利用した早期受診キャンペーンの効果検証、見直しを。

福祉部長 ①受診期間延長の要望が出ており、受診しやすい環境整備を進める。②情報が伝わりやすい内容に見直しする。③架電対象条件を見直す。④効果検証はしていない。近隣市の取組等を参考して事業を見直す。

やざわ青河

【多剤服用・残薬】対策の推進を！



1986年5月21日生、無所属、1期目
【学歴】鹿児島大学卒業
【職歴】ラヂオつくば(FM放送局)、県議秘書(菅原文仁氏)
【委員会】文教・建設、議会広報他
【その他】消防団、防災士

■治療中の高齢者約6割が多剤服用。対策は？

やざわ 治療中の高齢者の約6割が6種以上の多剤服用をしている実態が報告された。残薬は年間約475億円とも言われ、副作用や医療費の無駄、症状悪化に繋がる。他市では節薬バック等の多剤・残薬解消を推進。市の対策は？



福祉部長 国保では、重複服薬の方に相談や指導を実施。県広域連合や市薬剤師会では、注意喚起やかかりつけ薬局、お薬手帳を推進している。

やざわ 多剤・残薬問題は知られていない。更なる周知を。

福祉部長 「こくほのしおり」掲載など適正服薬を推進する。

【ポイント】 多剤服用の危険性は世界中で知られていますが、日本での改善は進んでいません。担当課も複数に跨り、協会けんぽ管轄の社保などアプローチの難しさを感じます。

■シニア等へのスマホ支援を！

やざわ シニアのスマホ利用率は6割を越え、電子政府化や電子決済、ネット詐欺等、高齢者等の情報格差デジタルデバイドが拡大。民間と連携したスマホ教室など対策を。

総務部長 公民連携の活用も1つの方法。市民ニーズ等を確認し、必要性があれば実施可能。

■LINEで自治体行政を！

やざわ 国内ユーザ数8000万人のLINEは2019年5月に自治体向け公式アカウントの無償提供を開始。ホームページ、SNS、tocoぷり等の情報集約化や相談窓口、住民票申請等様々な活用が期待。導入の検討を。

総務部長 行政の活用を研究する。



▲横手市LINEアカウント

【ポイント】 自治体でのデジタル化は今後更に加速し、情報格差のデメリットは確実に大きくなっていきます。そもそも、電子決済やネット情報・通販などの恩恵は高齢者にこそ享受されるべきです。身体に不安が生じて、家で買い物や相談ができる。災害時、真っ先に情報が伝わる。誰もが取り残されない社会の実現に向け、積極的な対策が必要です。

■台風対策について会派から要望しました。

Q. 浸水・冠水の原因は

⇒ 観測史上最大の雨量(連続雨量237mm)により荒川の水位が上昇。笹目川や下水処理場から荒川への排水能力が低下し、さくら川やポートコース、マンホールなどが溢水した。

Q. ペットの避難所対応を

⇒ 市は同行避難を妨げてはいない。避難者への配慮やスペースの確保などルールを検討していく。



Q. 防災無線が聞こえない

⇒ 防災ラジオの購入補助やいいとだメール、SNS、確認用フリーダイヤルなどを周知していく。



Q. 災害要支援者の対応は

⇒ 市と地域それぞれの避難者支援制度や社会福祉法人との受け入れなどの協定を活用していく。



Q. 彩湖道満の復旧状況は

⇒ 2月現在、サッカー場Bやテニスコート、陸上競技場の他、広場の一部が開放。3月中に全面開放予定。

Q. 今後の冠水対策は

⇒ さくら川、上戸田川の整備前倒しや新曽雨水調整池・貯留管の整備、水害避難訓練など様々進めていく。

Q. 体育館の雨漏り対策を

⇒ 令和2年度、調査し、順次対応。

●戸田駅巨大雨水貯留管の設置

戸田駅周辺の抜本的な浸水対策事業。北大通り、戸田駅から笹目川まで約1kmに直径6mの貯留管を設置する。2024年度完成予定。



さいたま市貯留管

●荒川第二・三調節池計画

「彩湖」上流に国が整備する調節池。事業費約1,670億円、2030年度完成予定。治水容量は2つで約5,100万^m³(彩湖1.3倍)

●彩湖道満復旧プロジェクト(2/28まで)

荒川の洪水防止に貢献した彩湖道満の復旧募金。さとふるのふるさと納税を利用し200万円以上の寄付が集まった。

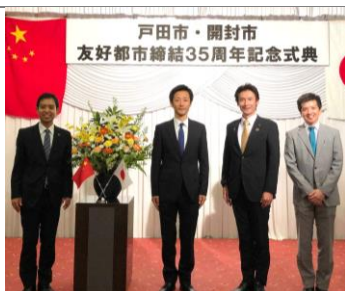


会派活動

その他の活動について

友好都市締結35周年

2019.8.23 @戸田市文化会館
中国開封市との友好都市締結35周年記念式典に出席。両市の交流に貢献された方の表彰や、高建軍市長はじめ友好代表団の皆様と交流を深めました。



戸田市商工祭

2019.11.04 @戸田市役所
第39回となる商工祭に参加。今回のスローガンは「世代をつなぐ地域の和」。市内の商業・各種団体のお店や工業製品の展示ブースなど見学しました。



横沢高德参議と交流

2019.9.12 @戸田市役所
元パラリンピック代表、参議院議員の横沢高德氏と交流。車椅子をはじめとしたバリアフリーや障がい福祉の諸課題について意見交換を行いました。

レポート駅頭活動

2019.11.15 @戸田公園駅
市政や議会の状況を少しでも知っていただきたく、駅頭で会派レポートを配布しております。日常の中の疑問やお困りごとなど、お気軽にお声がけください！



市町村交流レガッタ

2019.9.28 @大分県日田市
全国市町村交流レガッタ大会に議員クルーとして出場し、所属のモクセイチームが準優勝！さらに市民クルー含めた戸田市が大会総合優勝に輝きました。



セサミストリート・カリキュラム

2019.11.19 @新曽小学校
アメリカの教育番組セサミと連携した先行授業を視察。社会性や情緒、基礎資質の育成を目的としたプログラムで、子どもたちの積極性と笑顔が印象的でした。

ご意見募集!

① ホームページ: todanokai.com

② 電子メール: info@todanokai.com



③ 電話/FAX: 048(871)6391

④ 郵送: 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15